
開講科目名：国際経済論研究（4単位）
開設年次：2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：畑佐 伸英

《授業の概要》

＜授業の目標＞

基本的な国際経済の理論やしくみ、グローバル経済の現状を学習すると共に、現在、世界の成長センターとして発展を遂げているアジア経済の状況と動向を理解し、日本企業の対アジア戦略を考えていくことを目標とする。

＜授業の概要＞

前期の15回の講義のうち、最初の7回で貿易・投資に関する基礎を学び、後半の8回を利用して、国際収支や外国為替の動向を取り上げる。受講者には、国際経済事情の中で重要となっている課題をあらかじめ選考してもらい、各自で調査・学習のうえレポート作成をしてもらう。さらに前期最後の授業を利用して期末試験を行う。

後期は、日本経済と密接に繋がりを持っているアジア経済に焦点をおいて、アジアの経済発展の歴史や経済危機の経験を学び、今後の社会経済の行方や、日本経済との関係性、様々な課題への対応策などについて考えていく。最後の5～6回を利用して、国別の経済事情やビジネス環境について、アジアの主要な国を取り上げて説明する。この国別の学習の際には、受講者に担当する国を選んでもらい、各自で調査・学習の上、授業時間中に発表してもらう。

＜授業の内容＞

前期

- 第1回 はじめに
- 第2回 貿易の動向
- 第3回 貿易の理論
- 第4回 貿易の利益
- 第5回 貿易の制限
- 第6回 関税制度
- 第7回 海外直接投資
- 第8回 国際収支
- 第9回 外国為替
- 第10回 為替レートの決定
- 第11回 為替レートの変化
- 第12回 為替と経済の動き
- 第13回 国際通貨制度
- 第14回 固定相場制と変動相場制
- 第15回 国際経済の今後の動向

後期

- 第1回 アジア経済の概要
- 第2回 日本経済とアジア
- 第3回 経済成長の理論
- 第4回 アジアの発展の歴史
- 第5回 アジア型成長モデル
- 第6回 アジア通貨危機
- 第7回 金融市場改革と経済開放
- 第8回 地域経済協力
- 第9回 日本企業のアジア進出
- 第10回 課題発表1
- 第11回 課題発表2
- 第12回 課題発表3
- 第13回 課題発表4

第14回 課題発表 5
第15回 おわりに

＜評価方法＞

授業への貢献度（25％）、前期レポート（25％）、前期末テスト（25％）、後期課題発表（25％）、を勘案して評価する。

《テキスト》

特定のテキストは利用しないが、以下の参考書を読誦しておくことが期待される。

《参考書》

はじめて学ぶ国際経済（有斐閣アルマ）
世界経済読本（東洋経済新報社）
ゼミナール国際経済入門（日本経済新聞出版社）
入門国際経済（ダイヤモンド社）
アジア経済論（ミネルヴァ書房）
アジア開発経済論（文眞堂）
アジア経済発展論（文眞堂）
中堅・中小企業のアジア進出ガイドブック（中央経済社）
アジア進出ハンドブック（東洋経済新報社）